

やさしさと活力にあふれるまち「飛驒高山」をめざして

# 始まっています。

## 『未来創造図』づくり

### 第七次総合計画後期計画を策定します

高山市では、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するための施策などを示す『高山市第七次総合計画』の後期計画の策定を進めています。東海北陸自動車道の全線開通、人口減少や少子高齢化の進展など高山市を取り巻く環境は、平成17年に総合計画を策定してから変化しており、後期計画では、時代の流れに対応した後期計画を策定していきます。

総合計画とは、長期的な視野から高山市の将来の姿を描きながら、その実現に向けて計画的な行財政運営を行うため、将来のまちづくりの方向性などを総合的、体系的にまとめた計画です。市の最上位計画として市政運営の最も基本となる指針であり、市民と行政の共通の目標となります。

総合計画は、これからの高山市を見すえた施策の方針である「基本構想」と、まちづくりの基本目標を実現するための「基本計画」、実際の事業実施などを示す「実施計画」、財政面から

また「中期財政計画」の4つからなります。

市町村合併後の平成17年3月に策定した第七次総合計画では、平成26年度までの10年間で基本構想の期間として定め、基本計画を前期と後期(平成22～26年度)の5年ごとに区分しています。

今年度は、後期の基本計画を策定するため、市民アンケート調査の実施や市民懇談会の開催など、市民のみなさんのご意見やお考えをお聞きしながら、計画づくりを進めています。

問合先 企画課  
35-3131



### ●第5回高山市消防操法大会 名誉と期待担い 技を競う

消防技術の向上と士気の高揚を図り、迅速で適切な消防活動を行うことを目的に、市消防操法大会が6月21日、宮中学校グラウンド(一之宮町)で開催されました。選手みなさんは、連日取り組んできた訓練の成果を発揮して見事な消防操法を披露しました。

消防操法は、「火点」と呼ぶ標的を、放水により倒すまでの速さと動きの正確さを競う消防団の訓練の一つ。大会には、ポンプ車操法の部に市内9支団の代表チームが出場し、日頃の訓練成果を発揮しました。きびきびした行動でホースを延長して放水後、見事に標的が倒れると、会場からは歓声と大きな拍手があがっていました。

優勝した支団のチームは、8月2日に飛驒市古川町で行われる県大会に高山市代表として出場します。なお、大会の成績は次



優勝した一之宮支団のみなさん

問合先 消防総務課  
34-3792

- のとおりで。
- 優勝 一之宮支団
- 準優勝 高山支団
- 3位 丹生川支団